



# かしわの

No 489 (7月号)  
令和3年 6月30日  
調布市立柏野小学校  
校長 浅野 正臣

<http://www.chofu-schools.jp/kasiwano-sho> mail:kasiwano-sho@chofu-schools.jp

## Your pace

副校長 八木橋小百合

5月末から始まったプール工事が、6月上旬に終了しました。新しいシャワーも付き、プールサイドも緑色でとてもきれいです。そんな新しいプールから、子供たちの元気な声が響いています。

さて、私が特別支援学級で教員をしていた時のことです。月に1度、子供たちと歩行学習を行いました。この歩行学習のねらいの一つに、「友達のペースに合わせて歩く」ということがあります。誰も、自分のペースで歩くのが楽なのですが、この歩行学習時は、ペアの友達と手をつないで、友達に歩調を合わせます。途中、疲れたり手つなぎが嫌になったりで列を外れたりすることもあります。先生や友達の励ましもあり、目的地に無事到着することができます。特別支援学級児童は、その学習を積み重ねて「相手に合わせること」を学びます。

私は、自分の失敗を自分の子供に味わわせたくない一心で、子供の行動の先回りをしてルールをよく敷きました。そして「こうした方がうまくいくよ」とアドバイスをしました。あるとき娘が「お母さんは、心配性なんだね。お母さんの気持ちは分かるけれど、私には私のペースがあるから任せてほしい。」と言われました。

この時、失敗したくなかったのは、自分の子供だけのことではなく、子育てをしている私自身が失敗をしたくなかったのだということに気が付きました。「失敗は成功の母」とか「失敗ではなく、うまくいかなかったという経験」と頭の中ではわかっているものの、実際には自分にとっての「失敗」は嫌だし、受け入れがたいものだったのです。また、子供の成長のペースを親として見守ることは、急かされて育った私にはとても苦痛で、子供のペースに合

わせるどころか待てませんでした。

今、どんな困難な状況下でも生き抜く力「レジリエンス(心のしなやかさ)」が大切だと言われています。では、レジリエンスの力を育てるにはどうしたらよいのでしょうか。

- ①子供がどうしたいか決める(選択する)
  - ②どうしたらゴールまでたどり着くか一緒に考える(スモールステップ)
  - ③子供のペースで進むことを見守る
- などのことが考えられます。

大人に見守られる中で、やり遂げた経験が、子供の自信となり生きる力になることでしょう。自信に満ちあふれた笑顔いっぱいの子供たちを学校・家庭・地域で育てていきましょう。

### 【学校ホームページについて】

<https://www.chofu-schools.jp/kasiwano-sho/blog/index.html>



学校の様子を随時更新しています。ぜひご覧ください。

### 【オリンピック・パラリンピック観戦について】

6/30日現在、観戦する予定ですが、今後の状況で変更される場合があります。ご心配をおかけしていますが、ご了承ください。決定次第、ご連絡いたします。